

記入例（従事先を変更した場合）

様式第8号(第10条関係)

理学療法士等修学資金返還猶予申請書

令和〇年〇月〇日

福島県知事

申請者が自署してください。

住所 〇〇市〇〇町〇〇番地
氏名 **福島 桃子**
電話〇〇〇(〇〇)〇〇〇

番号が複数ある場合は、全て記入してください。
不明な場合はお問い合わせください。

法士等修学資金の返還の期限の猶予を受けたいので、別紙証明書

記	
〇専門学校	
貸与決定番号	第 29〇〇〇号、第31〇〇〇号
返還猶予を希望する期間	令和2年4月1日 から 令和5年7月31日 まで

これまでの貸与金額の総額を記入してください。

	円	
該当	1	学校等を卒業した後2年以内に県内の業務に従事し、引き続き当該業務に就くこととなる旨の届出を提出し、かつ、当該業務に従事していること（第1号に該当） 2 災害、疾病その他やむを得ない事由により、当該業務に従事することが困難となったこと（第2号に該当） 3 契約が解除された後においても、引き続き当該業務に従事していること（第3号に該当）

既に決定されている期間に前の従事先の退職日と新しい従事先の勤務開始日まで空いた期間を足した期間としてください。（退職日の翌日から次の職場での勤務を開始した場合などは、期間が空かないため、本様式の提出は不要です。）

例：
最初の決定期間→令和2年4月1日から令和5年3月31日
退職日→令和3年7月31日
再就職日→令和3年12月1日
空いた期間→4ヶ月
申請期間→令和2年4月から令和5年7月（最初の決定期間に4ヶ月を足す。）

1番に〇をしてください。

由	説明	(1の具体的理由)
		(2の具体的理由)
		(3の具体的理由)

例：以前の従事先を退職後、新しい従事先で勤務を開始し、猶予期間が変更となるため。